

オスプレイの安全性の説明を求める声明文

平成28年12月13日、沖縄県名護市東海岸の約1km沖合で米海兵隊普天間基地所属のMV-22オスプレイ1機が不時着水した。また同日、普天間飛行場において、別のMV-22オスプレイが着陸時に着陸装置（脚部）に不具合を生じる事故が発生した。

2017年後半には、CV-22オスプレイが横田基地に配備される計画が発表されている。

横田基地への配備が住民の生活に影響を及ぼす懸念は払拭されていない状況の中で発生した今回の事故は、極めて遺憾であり、あきる野市議会として、強く憂慮の念を示すものである。

あきる野市上空では、横田基地に配備されているC-130輸送機による日常的な訓練飛行が行われており、住民は騒音に悩まされ、部品落下や墜落の不安を感じているところであるが、今回の事故を受けて、オスプレイに対する安全性への懸念は大きくなると考えられる。

近隣市であるあきる野市議会としては、米軍に対して正確な情報提供と安全対策の徹底などの対応を図り、安全性が確認されるまでオスプレイの飛行を停止することを強く求める。

平成28年12月15日

東京都あきる野市議会